

学校だより



令和5年(2023年)度

8.9月号

<教育目標> 楽しく 学び合い つながり合う 第七小学校 大阪狭山市立第七小学校

体育館での終業式

7月20日の1学期終業式。私が七小に赴任して初めて、全学年の子どもたちが体育館に集まりました。コロナ禍となって以来、初めてのことです。体育館でクラスごとに並ぶことすら初めての学年があります。でも、とても上手に集まることができました。

終業式が始まり、校歌を静聴した後いよいよ私が子どもたちの前で話をします。450名を超える子どもたちの目が私のところに集まってきます。やはりリモートで話をする時とは違いました。目の前で話ができることっていいなあと思いました。子どもたちの顔を見ながら「ここまでくるのに、長かったなあ。」と思い、少し胸が熱くなりました。

1学期をふりかえるにあたって、「あいさつ」の話をしました。私が話をしたというよりは、何人かの高学年の子どもたちにインタビューをしました。1学期登校時に正門の前であいさつ運動をしてくれていた生活委員会の人たちに、「あいさつをしようとした相手から、先にあいさつをしてもらった時」と「自分があいさつをした相手から、あいさつが返ってこなかった時」の気持ちを聞きました。先にあいさつをされるとうれしいし、してくれないと悲しい。そんな気持ちを、答えてくれた人たちは自分なりに素直に表現してくれました。その後私は、「生活委員会の人たちの気持ち、覚えておいてね。」と言いました。

私は今回体育館で、生活委員会の人たちが七小の子どもたちに話してもらうことで、あいさつ運動をしている人たちがどんな気持ちでみんなにあいさつをしているのかを知ってほしかったのです。(この日の帰り、私が靴箱の前で立っていると、「さようなら」と自分から進んであいさつをしてくれた人がとても多かったので、うれしかったです。)

最後に、「休み中、事故や事件に巻き込まれないように」と夏休みのこともふれて、私の話を終えました。すると、思いがけず子どもたちから拍手をもらいました。少しびっくりしましたが、話を聞く姿勢がどの学年もよかったし、しっかり聞いてくれていたのかなと思ひ、うれしかったです。やっぱり面と向かって話ができることっていいですね。2学期の始業式も、1学期に七小でうれしい気持ちになったことを子どもたちに話す予定です。

校長 平島 和

～七小キッズサポーター募集中～

【サポーターの登録先】 七小キッズサポーター事務局 nana@cs-osakasayama.net

担当 浅尾健太郎(本校首席)・宮崎 俊三(地域学校協働活動推進員)

メールの件名:「サポーター登録」

メールの本文:連絡先(お名前・住所・電話番号・メールアドレス)を入力の上、送信してください。

【問い合わせ先】 第七小学校 担当 浅尾 TEL072-366-0033